

新学期のスタート



学校だより

沃野

第 1 号

発行者 みやら けん
校長 宮良 健



◆1学期 新任式・始業式 進級おめでとうございます

自分らしく あなたらしく

短い春休みも終わり、希望に満ちた新学期が始まりました。3月22日の離任式に5名の職員を送り出し、寂しい思いをしていましたが、新任式で新しく5名の職員をお迎えして、令和6年度がスタートしました。また、3月9日の卒業式では10名の卒業生を送り出しましたが、入学式では16名の新入生を迎えることができました。今年度は、昨年

度より5名増え、全校生徒が46名になり、竹富町では一番大きな中学校になりました。また気持ちを新たに頑張って頑張っていきたいと思います。さて、新2年生、新3年生の皆さん、進級おめでとうございます。この後、各学年代表と生徒会代表の決意表明を聞いて、皆さんも一人ひとり新しい学年を迎えるにあたり、自分の目標を決めて、この1年、意欲

令和6年度 職員紹介

※ は新職員です♪

役職等	名 前
1 校長	みやら けん 宮良 健
2 教 頭	いとかず やすし 系数 靖
3 国 語 中1担任	たいら みいな 平良 未衣菜
4 数 学 中2担任	いしがき ひでき 石垣 秀樹
5 社 会	はてるま とくゆき 波照間 督起
6 理 科 中3担任	やまうち とくま 山内 徳真
7 英 語	やまうち ふじこ 大濱 富士子
8 体・家	いじま なつき 飯島 奈月
9 音・美	やすだ しょう 安田 翔
10 特支担任	はてるま ただひろ 波照間 忠弘
11 養 護	こはま あつこ 小浜 敦子
12 事 務	とみやま あやの 富山 彩乃
13 司 書	すやま ゆみ 陶山 由美
14 用務員	まえばつ いとえ 前津 系枝

的に勉強や部活動に努力して欲しいと思います。「始めよければ、終わりよし」という言葉があります。何事も初めが肝心であるということですね。また「千里の道も一歩から」と言われるように、最初のスタートがとても大切なのです。気持ちを引き締めて、心を新たに、新しい学年をスタートしていきましょう。

中学校というこの時期は、身も心も成長する大事な時期です。この時期に勉強にもスポーツにも、真剣に、そして真面目に取り組み、大きく成長して欲しいと思います。

最後に、私から皆さんにお願いがあります。それは「自分らしく学校生活を楽しんでほしい」というお願

いです。そのためにも、対話を通してお互い認め合いながら、自分自身を進化させてほしいと思います。「過去と他人は変えられないが、変えられるのは、今、ここから始まる未来と自分」という言葉があります。新しく赴任した先生方は、皆さんが1年生、2年生だったころのことを知りません。もちろん、皆さんも新しく赴任した先生方のことを知らないと思いますので、新たな自分に進化するチャンスでもあります。自分の中にある資質・能力を発揮させるためにも、多様な人々と関わりながら、自ら考え、判断し、言動（発言・行動）してほしいと思います。みんなで魅力ある船浦中学校を創っていきましょう。

新職員



職員 (14名)



中3 (20名)



中2 (10名)



祝 入学おめでとう♪

竹富町立 船浦中学校

令和6年度 入学式

令和6年4月8日（月）

《式次第》

司会（教務）

- | | | |
|-----|--------------|-------|
| 1 | 開式のことば | 教頭 |
| 2 | 国歌・校歌斉唱 | 全員 |
| 3 | 入学者報告 | 担任 |
| 4 | 入学認定 | 校長 |
| 5 | 学校長式辞 | 校長 |
| 6 | 祝辞 | |
| (1) | 竹富町教育委員会教育長 | |
| (2) | PTA会長 | |
| 7 | 歓迎の言葉 | 生徒会長 |
| 8 | 新入生代表の言葉 | 新入生代表 |
| 9 | 新入生決意の言葉 | 新入生全員 |
| 10 | 新入生保護者代表あいさつ | |
| 11 | 職員紹介 | 校長 |
| 12 | 閉式のことば | 教頭 |
- ・記念撮影
・1年生学級開き

◆令和6年度 入学式【式辞】

「自ら考え、判断し、言動できる人」へ

春のさわやかなそよ風を感じるこのよき日に、歴史ある竹富町立船浦中学校に入学されました70期生16名のみなさん、ご入学おめでとうございます。

本日の入学式にあり、多数のご来賓の皆様、並びに保護者・地域の皆様のご臨席を賜り、令和6年度船浦中学校入学式を閉式できましますことを、謹んで御礼を申しあげます。

期で、特に精神面で大人に近づく大切な時期でもあります。この大切な3年間に必要なことは、目的を持つことです。

3年後の自分、またはもっと先の自分をイメージし、その実現に向けて一歩一歩前進してほしいと思います。そして、中学校では、多様な人たちと関わりながら、自ら考え、判断しながら、発言したり、行動したりすることが重要になってきます。これからは「教えてもらう」だけでなく「自ら学ぶ」という意識をもつようにしてください。学校の授業でも家庭での学習

でも、与えられたことだけをやっていただけでは前に進むことはできません。

「厳しく教えるのが難しくなってきた中、厳しさは自分でつくり、しっかりとした課題や目標をもって自分で自分を鍛えなければならぬ」と、文化面やスポーツ面で活躍している著名な方々は口を揃えて言っています。目の前のことが難しくても、つらくても、これはいつかきつとよくなるためのプロセスだと信じて、自分らしく、前向きに取り組んでほしいと思います。

でもありません。子どもは、失敗から多くを学び、心を開き、自ら考え、判断し、言動できる人へと成長していきます。

また「人は期待された通りの成果を出す傾向があります。『どの子もきつと素敵な大人になる』ことを信じ、保護者の皆様と一緒に、一人一人の子供たちの成長を支えていければと思います。

大切な時期と向き合う

保護者の皆様、お入学、誠にありがとうございます。この3年間は、皆様のお支えと御協力のおかげで、心からお願い申し上げます。

結びに、本日は竹富町教育委員会より教育課長 西原 智様、PTA会長 尾島直矢様、新入生保護者代表の吉田隆志様のご祝辞をはじめ、多くのご来賓の皆様、地域の皆様のご臨席賜り、誠にありがとうございます。どうか、今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。また、御臨席を賜りました御来賓・保護者・地域の皆様への御挨拶と、そして新入生をはじめとする本校46名の生徒の輝かしい未来を祈念し、式辞といたします。

令和六年四月八日
竹富町立船浦中学校
校長 宮良 健

自主・親愛・努力

